



草津市  
平成●年●月

## 草津川跡地利用基本計画（案）



人と自然 人と人がつながる  
**ガーデンミュージアムをめざして**

どこにもない  
魅力まちづくりの舞台開き



# 草津川跡地利用基本計画の全体構成のあらまし

1章  
計画の背景と目的

- 郷土の歴史資源
- 地域の骨格スペース
- 都市機能の連繋・集約
- コミュニティの醸成

草津市の都市価値を高め、未来に新しいチャンスを広げる

「どこにもない 魅力まちづくりの舞台開き」

2章  
計画の基本的な考え方

計画の理念「歴史をつくる、人と自然の合作」

- 歴史・文化・資源を生かし  
未来に継承
- 新しいまちづくりによる  
都市の特徴づくり
- 市街地の活性化を始めとした  
都市再生

空間目標「時の流れを見つめる場を提供し、心身が癒され 生きる力が得られる場」

空間像 人と自然 人と人がつながる「ガーデンミュージアム」をめざして

3章  
トータルデザイン  
全区間の基本的な枠組み

ガーデンミュージアムの実現を支えるトータルデザイン

空間特性から考える  
景観デザイン

- 歴史性の継承
- 自然との共生
- 人間性の尊重

利用する人の立場から考える  
コミュニティデザイン

- 公共空間づくりへの市民  
参加
- 市民が主役となる行動  
計画
- 市民と行政の協働による  
仕組み

未来を見すえて考える  
防災・都市環境デザイン

- 日常の行動が活かせる  
防災コミュニティづくり
- 周辺地域防災施設との  
ネットワーク化
- 自然力を生かす都市  
活力・都市環境づくり

4章  
空間計画

ガーデンミュージアムの考え方、各区間整備の考え方

- 「自然風を基調とする」  
植栽計画
- 「集客と自立運営へ」  
にぎわい空間計画
- 「歴史と景観を演出する」  
シンボル空間計画
- 「安全と快適を追求する」  
動線計画
- 「災害に備え、循環型をめざす」  
防災・都市環境計画

- 「農と人の共生」をめざす区間②
- 「森と人の交流」をめざす区間③
- 「環境と人の共生」をめざす区間④
- 「人と人の交流」をめざす区間⑤
- 「時と人の出会い」をめざす区間⑥

5章  
区間別計画

6章  
事業の仕組みと  
エリアマネジメント

- 安定的・発展的な事業運営
- 全体事業の段階的整備と支援制度等の  
導入

- エリアマネジメントの導入  
多様な主体が一つの組織で効率的な協働  
と役割分担

第7章 今後の取り組み

# ～草津川跡地利用基本計画 目次～

## 第1章 計画の背景と目的

1. 1 草津川跡地の意義.....	1
1. 2 計画の視点と目的 .....	2

## 第2章 計画の基本的な考え方

2. 1 基本理念.....	4
2. 2 計画目標.....	4
2. 3 目標達成に向けての基本的戦略.....	5
2. 4 空間目標と空間像 .....	6
2. 5 ガーデンミュージアムの整備の方向性.....	7

## 第3章 トータルデザイン 全区間の基本的な枠組み

3. 1 トータルデザインとは.....	9
3. 2 トータルデザインの構成 .....	9
3. 3 景観デザイン .....	11
(1)景観デザインのコンセプト .....	11
(2)景観デザインを具現化するための工夫 .....	12
(3)ガーデンミュージアムの構成要素 .....	14
3. 4 コミュニティデザイン .....	15
(1)コミュニティデザインとは.....	15
(2)コミュニティデザインのコンセプト .....	15
(3)コミュニティデザインの取り組み(草津川跡地でのコミュニティデザインの考え方) .....	16
(4)草津川跡地のエリアマネジメントとは .....	17
(5)市民参加による活動に向けて .....	18
3. 5 防災・都市環境デザイン .....	19
(1)防災・都市環境デザインとは .....	19
(2)防災・都市環境デザインのコンセプト .....	19
(3)防災機能の時間的な考え方 .....	21

## 第4章 空間計画

4. 1 空間計画の全体像.....	22
(1)ガーデンミュージアムの考え方 .....	22
(2)各区間整備の考え方 .....	23

(3)全体配置計画.....	24
<b>4. 2 「自然風を基調とする」植栽計画.....</b>	<b>25</b>
(1)植栽計画の考え方 .....	25
(2)基調となる植栽樹種.....	26
(3)各ガーデンにおける植栽例 .....	29
<b>4. 3 「集客と自立運営へ」にぎわい空間計画.....</b>	<b>30</b>
(1)にぎわい空間計画の考え方 .....	30
(2)にぎわい施設計画.....	30
<b>4. 4 「歴史と景観を演出する」シンボル空間計画.....</b>	<b>36</b>
(1)シンボル空間計画の考え方 .....	36
(2)堤体の特性を生かしたシンボル空間.....	36
(3)歴史的資源を生かしたシンボル空間 .....	37
(4)交差点を生かしたシンボル空間 .....	39
(5)日常空間のシンボル空間化 .....	39
(6)シンボル空間の整備手法 .....	39
<b>4. 5 「安全と快適を追求する」動線計画.....</b>	<b>40</b>
(1)動線計画の考え方 .....	40
(2)道路計画.....	42
(3)交差点計画 .....	45
<b>4. 6 「災害に備え、循環型を目指す」防災・都市環境計画.....</b>	<b>47</b>
(1)防災施設計画の考え方 .....	47
(2)アクセス路の整備.....	51
(3)防災拠点のネットワーク化 .....	52
(4)広域防災への対応.....	53
(5)都市環境計画の考え方 .....	54
<b>4. 7 基盤整備計画.....</b>	<b>58</b>
(1)造成計画.....	58
(2)供給処理計画 .....	59

## 第5章 区間別計画

---

<b>5. 1 区間②基本計画～農と人の共生～ .....</b>	<b>60</b>
<b>5. 2 区間③基本計画～森と人の交流～ .....</b>	<b>62</b>
<b>5. 3 区間④基本計画～環境と人の共生～ .....</b>	<b>65</b>
<b>5. 4 区間⑤基本計画～人と人の交流～ .....</b>	<b>67</b>
<b>5. 5 区間⑥基本計画～時と人の出会い～ .....</b>	<b>71</b>

## 第6章 事業の仕組みとエリアマネジメント

---

<b>6. 1 事業の仕組み .....</b>	<b>73</b>
--------------------------	-----------

(1)安定的・発展的な事業運営 .....	73
(2)全体事業の段階的整備と支援制度などの導入 .....	74
<b>6. 2 エリアマネジメント .....</b>	<b>74</b>
(1)草津川跡地のエリアマネジメントの仕組み .....	74
(2)エリアマネジメント協議会(仮称)の役割 .....	75
(3)「まちづくり会社」の役割 .....	76
(4)エリアマネジメントによる波及効果 .....	76

## 第7章 今後の取り組み

---

<b>7. 1 今後の進め方 .....</b>	<b>77</b>
(1)効果的な段階整備の推進 .....	77
(2)事業進捗・事業効果の評価・検証 .....	77
(3)協働の基盤づくり .....	78
<b>7. 2 市民参加の促進 .....</b>	<b>79</b>
(1)運営、維持管理に向けた仕組みづくり .....	79
(2)設計・施工段階における市民参画 .....	79
(3)ガーデンミュージアムの維持管理について .....	79
<b>7. 3 事業の推進に向けて .....</b>	<b>80</b>
(1)国道1号平面化に向けた調整 .....	80
(2)中心市街地活性化基本計画との連携 .....	81
(3)関連事業との連携 .....	82
(4)整備のプライオリティーの設定 .....	82
(5)堤外民地の整理 .....	82
(6)交通ネットワークの向上 .....	82
<b>7. 4 基本設計における検討事項 .....</b>	<b>83</b>
(1)地形特性を考慮した設計検討の実施 .....	83
(2)自然力の導入について .....	84
(3)コスト縮減の検討 .....	85
<b>参考資料 用語解説 .....</b>	<b>86</b>

